

湖、さらに普段は入ることのできないダムの	えていたいただきました。また、ダム堤体やダムの	利水といたったダムの仕組みや役割について教	早明浦ダムでは、職員の方から洪水調節や	かいました。	名に参加いただき、バスで早明浦ダムへと向	今回は、小学生八名と保護者八名の計十六	しのがわ（上流編）」を開催しました。	浦ダムと吉野川水系汗見川で「交流体験」よ	め、平成三十年八月五日、吉野川上流の早明	川について学び、その魅力に触れてもらうた	を持ちます。そこで子ども達を対象に、吉野	て、「四国三郎」の異名を持つなど多彩な顔	（筑後川）と並ぶ日本三大暴れ川の一つとし	が、古くから坂東太郎（利根川）、筑紫次郎	普段は穏やかな流れをたたえる吉野川です	吉野川交流推進会議	水難事故防止講習会実施状況報告	吉野川上流探検&	交流体験「よしのがわ（上流編）」
----------------------	-------------------------	-----------------------	---------------------	--------	----------------------	---------------------	--------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	----------------------	---------------------	-----------	-----------------	----------	------------------

監査廊を見学し、子ども達からは「大きいなあー」「すごい！」などの声が上がりました。汗見川では水難事故防止講習会を実施しました。広島文化学園大学の小谷特任教授を講師に招き、川で遊ぶときに気をつけることや溺れている人を救助するためのスローバック（レスキューロープ）の使い方を学びました。スローバックは、使ったことがない方ばかりでしたが、講習を受けた後には、子ども達も使い方を習得できました。

吉野川交流推進会議では、今後も様々なイベントを通して、吉野川の振興を図り、子ども達に川に親しみながら学習してもらうための取り組みを続けていきたいと考えています。



←ダムの役割について学習

早明浦ダムを管理している水資源機構の職員からダムの仕組みや役割について教えていただいた。

監査廊の中を探検→  
普段は入れない早明浦ダム堤体の中  
(監査廊)を見学。



←水難事故防止講習会

広島文化学園大学の小谷特任教授から、川で遊ぶときに気をつけることを指導いただいた。

川での浮かび方の練習→  
川の事故から身を守るため、  
川での浮かび方を小谷先生指導  
のもと練習した。

